

連携医院のご紹介

今回は「島民の生活を最後まで支えること」を何よりも大切に取り組んでおられます、似島診療所 石光 秀年先生です。



石光院長先生

似島診療所

〒734-0017
広島市南区似島町家下752-74
電話 / 082-259-2515
院長 / 石光 秀年
診療科目 / 内科・整形外科



似島診療所(合同庁舎内)

○いつ頃開業されましたか。

平成3年10月です。似島が無医地区になったことをきっかけに開業いたしました。当時は、似島と県病院との間に今ほどの連携体制がなかったため、開業に不安を感じておりましたが、少しでも島民の方のお役にたちたいと決心しました。

○クリニックの特徴について教えてください。

島内には他に医院がありませんので、訪問診療や往診といった在宅医療が特徴です。また、県病院への搬送が迅速に行われるよう、隣接の南消防署似島出張所と常に連携しております。

○診療で大切にしていることは何ですか。

患者さんの利益を一番に考えることです。病院での治療が最適と考えられれば紹介により連携し、患者さんやご家族が自宅療養を望まれば、それを最大限支援する方法を考えます。また、島民の方が健康で少しでも長生きできるように、早めに最善の治療を判断する予防医療にも心がけております。

○開業医のやりがいについて教えてください。

在宅医療を通じて患者さんの生活に密着し、最後をご自宅で迎えることを希望される患者さんやご家族を支え続けます。患者さんから「先生に看取ってほしい」、あるいはご家族から「良い最期を迎えられました」といった言葉をいただいた時が何より嬉しく、一番のやりがいです。

○KBネットについてひと言お願いします。

患者さんのカルテを全て閲覧できるので、各診療科の個別の治療状況だけでなく、院内他科への紹介経緯なども全て見ることができます。そのため、県病院での治療内容を詳細に把握することができ、患者さんが似島に帰られた後の支援に本当に助かっております。

【取材後記】

取材中にも往診の依頼があり急行されるなど、似島で一人奮闘しておられる先生の姿を見て、心の中で応援せずにはいられませんでした。



県立広島病院 〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号

※県立広島病院の様々な情報をホームページに掲載しています。
県立広島病院 で検索 (URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>)

理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします

謹賀新年



写真「まちふと」 <http://machi-photo.net/>



桑原 正雄
県立広島病院院長

皆様には新しい年をどのようにお迎えになりましたでしょうか。
当院は開院以来、県民の皆様のために専門的で高度な医療や地域に密着した医療を行ってまいりました。
特に昨年は、脳心臓血管センターの開設、手術室の増設など、高度急性期病院として、県民の皆様からの期待に応えられるよう機能の強化を図ってまいりました。
今年も、かかりつけ医の先生方と共に地域の医療を支えてまいります。
地域医療・福祉関連の皆様からのご支援・ご指導を宜しくお願い申し上げます。
平成二十七年 元旦

県立広島病院からのお知らせ

1月のがんサロン

開催日 平成27年 **1月22日**(木)
時間 14:00~15:30
場所 新東棟2階 総合研修室
内容 学習会・交流会
対象 悪性腫瘍(がん)で通院 または 入院されている患者さん 及び そのご家族
問合せ先 地域連携センター
総合相談・がん相談室
TEL:082-256-3562
(担当:佐々木)

がん医療従事者研修会

開催日 平成27年 **1月22日**(木)
時間 18:30~20:00
場所 中央棟2階 講堂
テーマ 「がん患者の心のケア」
講師 広島大学大学院医歯薬保健学研究院教授/岡村 仁
対象 医療従事者 及び その関係者
問合せ先 総務課管理係(担当:永岡)
TEL:082-254-1818
内線(4273)

紹介状持参のお願い

初診時、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費の他**2,690円**のお支払いが必要となります。初診の際には、紹介状をお持ち下さい。

※当院では、予約診療を優先して診察しています。予約診療以外で受診されると待ち時間が長くなる場合がありますので、ご了承下さい。

KBネット

現在の参加医療機関 (12月12日現在)

194 機関

問合せ先 地域連携センター
電話(082)252-6228(直通)

私のこだわり 其の七

事務局長 内山 博文



気持ちよく利用できる県病院に

今、NHKの朝ドラ「マッサン」が大人気です。そのモデル、竹原市出身の竹鶴政孝さんは、生涯、ウイスキーづくりにこだわり、その政孝さんを支え日本文化にも溶け込んだ妻リタさん、失敗しても二人で夢を追いつける本気度が、人気の源なのでしょう。

私も妥協せずとことん追い求める夢を見つけることができたらと、生来の無精者も一応ちょっと考えてはみるのですが、すぐに楽な道を選び三日坊主。ジャンボ宝くじに夢を見る自分、もう還暦が近づいてしまいました。

こんな私も1年ちょっと前、三日坊主を卒業したことが一つあります。県病院の駐車場や周辺道路の空き缶やタバコなどのポイ捨てゴミを、毎朝拾うことです。3か月前から「こだわって」記録してみました。私が拾う1回の平均が、空き缶・ペットボトルが5本、タバコが103本、合計108、除夜の鐘、煩悩の数。5~6人で活動していますので、ものすごい数です。

20年以上前に読んだ「ちょっとおかしいぞ日本人」という文庫本のことを最近になって思い出しました。海外経

験が豊かな著者から見た日本への感想だったように思います。欧米では屋内も靴、日本では靴を脱いで綺麗にします。でも、一步、家を出ると、路上にタバコは捨てるし、唾も吐く、立小便も平気。自分の家では絶対しないのに、というようなことが書いてあったように思います。

大切な県病院がゴミだらけだったら悲しいし、患者さん、お見舞いこいらっしゃる方、皆さんが嫌な思いをされる、と思いついたのが平成25年11月。ツツジやサザンカの生垣の中を覗いてみると、空き缶、空き瓶、ペットボトル。駐車場の車止めの陰には隠すようにタバコの吸い殻。自宅では、生垣にゴミを突っ込んだり、庭に吸い殻をポイ捨てるようなことはしないのですが…。

患者さんをはじめ、利用される皆様に気持ちよく利用していただける県病院であり続けるため、今年も一年間こだわってみたいと考えています。

皆様にとって、今年が良い1年でありますことをお祈りします。



皆さんに気持ちよく県病院を利用していただき隊



ここにも吸い殻が…
「禁煙」表示の立札の下に隠されていた吸い殻発見!

Nutrition Support Team

栄養管理はあらゆる治療の土台です。患者さんが早く元気になるためには最新の治療を施すことは言うまでもありませんが、栄養状態を良好に保つことも重要です。

栄養サポートチーム(NST)とは、栄養管理に関する所定の研修を終了し、日本静脈経腸栄養学会(JSPEN)によるNST 専門療法士の資格を持つ、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・臨床検査技師などの専門職員で構成された多職種医療チームです。平成19年より全診療科の入院患者さんを対象に栄養診療を開始しました。

栄養状態を評価し、適切な栄養療法を選択・実施することにより、栄養状態の改善から治療効果の向上、合併症の減少、QOLの向上、患者さんの早期退院を図っています。また、院内及び地域のNST活動に必要な医療人材の育成にも精力的に取り組んでおり、JSPENよりNST 専門療法士教育施設の認定を受けています。



カンファレンス(上) 院内勉強会(下)



チーム回診の様子

活動内容

- ・チーム回診
- ・症例カンファレンス
- ・NST院内勉強会
- ・NSTオープンカンファレンス
- ・NST専門療法士研修会

外科医の独り言 no.40

涙

『歳を取ると涙もろくなる』とよく言われますが、これは本当でしょうか?かつて親が水戸黄門を見ながら涙しているのを見て「何故こんなワンパターンのドラマで泣けるのだろう」と10代の私は不思議でなりません。歳をとると老化現象で涙腺が緩むのでしょうか?生まれたばかりの赤ちゃんが乳を欲する時に大泣きするのは、水戸黄門の時と同じ涙でしょうか?西郷隆盛は終生泣き虫だったそうです。泣き虫というところ弱々しい感じがしますが、彼は滝のように豪快な涙を流し大声でワンワン泣いたそうです。器量の大きな人は情に厚く涙もろい、という説もあるそうです。

涙は涙腺で作られ涙道を通して鼻に抜けます。涙腺はいつも目が乾燥しない程度に涙を作っています。涙がなければドライアイになります。では、なぜ時に溢れるほどの涙が出るのでしょうか?喜び、悲しみなどの様々な感情が脳に起こり、その指令が自律神経を介して涙腺を刺激し、涙が大量生産されてあふれ出てくるのです。涙腺に老化現象が起こるのであれば歳を取ると皆ドライアイになるはずですが、歳をとって涙もろくなるのは、少なくとも涙腺の老化現象ではなさそうです。

生まれたばかりの赤ちゃんには嬉しい、悲しいという感情はなく、お乳が欲しいという欲求とおむつが気持ち悪いという不快感のみが刺激となって涙があふれてきます。すべて自分の事で泣くわけで、他人の事を思いやっ泣いているわけではありません。それが思春期を経て大人になると自分の事だけでなく他人事でも涙するようになります。それがさらに歳を取ってくると嬉しいこと、悲しいこと、様々な痛みも数多く

経験をします。他人に起こった出来事に対して、かつて自分が同じような経験をし、その記憶を刻んだ脳が勝手に刺激されて涙するのです。したがって多くの経験をすればするほど、すなわち歳を取れば取るほどに他人に『共感』し、涙があふれてくるのです。子供は経験が少ないために他人に『共感』して泣くことが少ない、少なくとも水戸黄門の印籠が出て泣くことはないのです。もちろん子供であつても一生懸命努力して勝利を手に入れた経験があれば表彰台で感涙するスポーツ選手に『共感』して泣くはずで、高校球児の涙は負けた悔し涙あるいは部活動を支えてくれた周囲の人たちへの感謝の涙かもしれません。しかし、その姿を見て涙する私は悔しいわけでも感謝の気持ちでもありません。私の脳に刻まれた記憶が刺激されて『共感』の涙があふれるのです。

一人で泣くことに恥ずかしさはありませんが、面前で大の男が涙するのは恥ずかしいものでつい気づかれないような仕草でごまかします。結婚式の披露宴で最後を飾るのが新婦の両親への感謝の手紙です。私も幾度となく披露宴に出席し必ず泣かされてしまう苦手の儀式です。周囲の人に泣いているのを悟られないために苦労しました。同じ子供を持つ親としての経験が脳の中に刻まれており、新婦が読む手紙の内容に『共感』して涙するのだと思います。その手紙を読んでいるのが自分の娘だったら…それがまさに先日現実のものとなり、結果は…もちろんポロポロでした。



院長補佐(消化器・乳腺・移植外科主任部長) 板本敏行(いたもととしゆき)

病棟編

看護部だより

南2病棟

南2病棟は、脳神経外科、脳神経内科の病棟です。手術目的の予定入院だけでなく、脳卒中や頭部外傷などの重症で全身管理の必要な緊急入院や、救命救急センターで高度救急治療を受けた患者さんの受け入れなども積極的に行っています。看護師は、患者さんの早期回復に向け、安全に日常生活の拡大が図れるように、リハビリテーション科と協働しています。病棟には脳卒中リハビリテーション看護認定看護師がおり、摂食・嚥下障害看護認定看護師などとも連携を取っています。患者さんの退院前は、地域連携センターと共に自宅退院や転院の調整を行っています。脳卒中後遺症の支援として、脳卒中広島友の会(ぴあチアーズ)にも参加しています。平成26年10月からは脳心臓血管センターが開設され、脳神経外科、脳神経内科、循環器内科、心臓血管外科が連携し、多血管病に対応しています。ベッド上で過ごされていた患者さんが、動けるようになり退院されるのが、私たちにとって一番の喜びです。



南2病棟スタッフ

がんはつてます!